

事業所名

コロニー児童デイサービスのほりかわ発達支援

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		沖縄コロニーは、結核回復者が結成した「沖縄療友会」が当法人の前身であり、利用者第一優先を基本理念に、時代のニーズに合わせて、障害福祉、高齢者福祉、児童福祉に取り組んできました。これからも、「利用者のしあわせ」職員のしあわせ」「地域社会のしあわせ」の3つのしあわせの実現を目指して、福祉と医療の連携を図り、新しい福祉の創造に挑戦します。							
支援方針		①児童が明るく楽しく過ごせるよう、居心地の良い場所づくりを目指します。 ②発達支援や療育的活動（遊び、運動等）を通して、児童の成長・発達を促せるよう、支援計画に沿って支援します。 ③保護者が抱える育児不安や育児負担を軽減し、保護者が安心して子育てを行えるよう支援します。							
営業時間		9 時	30 分	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容							
		項 目				ね ら い			
本人支援	健康・生活	・給食支援、おやつ、水分摂取 ・検温、手洗い、準備～片付けの習慣、歯磨き支援、お昼寝 ・身辺自立支援、トイレトレーニング、衣服の着脱、靴下の履く練～自立まで				・偏食の改善や緩和。食べられる種類が増えて自ら食具を使い食事をすることが出来るようになる。 ・衛生面の確認や保持、健康観察、体力保持。 ・靴、靴下の片付け、衣服の着脱、トイレでの排泄練習、自分の持ち物を畳んで片付ける事が出来る。			
	運動・感覚	・公園遊び（遊具、虫取り、広場で駆け回る） ・運動遊び（平均台、跳び箱、トンネルくぐり、マット運動） ・感覚遊び（スライム、粘土、小麦粉、片栗粉、小豆）				・体の使い方の習得、走る、登る、滑る、揺らすなど体の色んなところを使い体幹機能向上。 ・平衡感覚を養う、手足の動き、位置を確認しながら行動する。ルールを守る。 ・様々な感触に触れることで感覚過敏の緩和や苦手意識の軽減、遊びの広がり。			
	認知・行動	・ルールのある遊び、活動（尻尾取りゲーム、イス取りゲーム、だるまさんが転んだ）・はがき作り、積み木、プラレール。買い物学習、交通安全教室。 ・クッキング（おやつ作り）				・ルールがある事を知り、理解し守る。他の人と協力して物事に取り組むことを経験し習得する。 ・シュレッダーの廃材を使い（洗剤・のり・水）と混ぜ型に流し込み完成させてはがきを作り暑中見舞いや年賀状を作成し、投函までを経験し習得する。・公共の場でのマナーを知り商品はお金を使い購入することを知る。・交通安全課の指導の下横断歩道の渡り方教室を勉強しています。			
	言語コミュニケーション	・絵本や紙芝居の読み聞かせ。 ・手話ダンス、音遊び、カード遊び。 ・言語聴覚士によるお勉強。（個人、集団）				・座って集中して絵本や紙芝居を見ながら聞いたり、見たりすることが出来る。（座る事で集中力や制作活動へ繋ぐ事が出来る。（手話ダンスも同様で楽しみながら表現力を学ぶ） ・発生に必要な呼吸、口の動きの形成などの訓練や言葉の理解度を向上するための発語の発達を促す訓練（絵カードやマッチング）等を児童の発達段階に応じて個別や集団により実施します。			
	人間関係社会性	・当番（給食、おやつ、帰りの会の司会） ・外出体験（苺狩り、ミカン狩り、公共施設見学、マイクロバス体験） ・玩具の貸し借り、ごっこ遊び。				・給食やおやつの前挨拶や帰りの会の司会で友達や職員の名前を呼んでもらい発表の場を作り肯定感を持たせ自信へと繋げていく。 ・施設見学や体験を通して、興味関心の幅を広げ、様々な感覚や感情が育つ。			
家族支援		・親子BBQやクリスマス会、家族会などを通して、保護者通しの交流や相談などを行います。 ・送迎対応（自宅・園・事業所間）				移行支援		児童と一緒に、入学前の学校の施設見学を行ったり、放課後等デイサービスへの進路相談会を実施します。	
地域支援・地域連携		ハロウィーン等のイベント機会を通して、地域住民（自治会）との交流や近隣の保育園との交流会などを行っています。				職員の質の向上		定期的な職員研修（年2回）身体拘束・虐待防止研修（年1回）アタッチメントと発達障害基礎編の研修を実施します。	
主な行事等		家族会（5月）進路相談会（9月）親子BBQ（10月）秋の遠足（ミカン狩り&どんぐり）11月クリスマス会（12月）社会体験（水族館、博物館）卒業遠足（3月）卒業パーティー（3月）							